

第 75 号 地域開発みちの会



みちの会だより

<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 山中和子

◆町制 60 周年記念「阿久比町きらきら女性議会」◆



質問する大村貞子さん(左)と議長を務める吉住まり子さん

6月27日、「あぐい女性の会」を構成する10団体から選出された21人が女性議員として出席し、地域開発みちの会から大村貞子さん、山本さゆりさん、議長を吉住まり子さんが務めました。【大村貞子さんの質問と担当部局からの回答】

(質問) 子育て支援、女性職員の登用と今後の方向性について
(回答) 平成26年度より、公的一時預かりについて町立保育所での実施を検討する。ファミリー・サポート事業については、今後町民意識調査を実施し判断していく。女性職員に限定したリーダー研修は行っていないが、管理職に女性職員登用への職場環境を整えていく。

女性議会に参加して

本町には女性議員が不在ですので女性目線の意見を直接発言するよい機会です。質問内容の打ち合わせから、質問議員を決め、文章を書いたら言葉を選び、行政マンの助けをいただいて準備してきました。みなさん堂々と発言され、すぐにでも女性議員になれそうです。

思い起こせば、亡夫が議会前の質問文をいつも夜遅くまで書いていたことを思い出します。まるで議会という劇をしているように思っていました。一字一句残し、町より返事をもらうには、やはりこんな型しかできないのでしょうか。夫の議会質問のビデオが、いつでも見えます。本日は議場で、ずーっと夫といるようで、仲間とは全くちがう意味合いの思い出ができました。

(山本さゆり)

知多市会員石井久子さん、中日新聞に！

愛知県警主催、地域の絆づくり事業「地域コミュニティの防犯の課題と対策」に、知多市南粕谷コミュニティ会長石井さんが、事例発表され、9/20 付中日新聞に掲載されました。



《自民党改憲草案》が発表されて、まずは96条の変更をという動きがある中、Aブロックは憲法を今一度学び直すことが必要と考え、6月29日のつなぐれっとまつり(名古屋市男女平等参画推進センター男女共同参画週間イベント)に「憲法と男女平等参画～ベアテさんの想い～」で参加をしました。永山さん(Aブロック)が愛知憲法会議事務局に講師派遣依頼をして下さいました。受諾して下さいしたのは田巻紘子弁護士。田巻さん作成の資料はコンパクトながら内容がぎっしり！憲法に縁遠かったわたしには分からないところだらけでしたから、ラインを引いて書きこみをしながら読みこなしに努めました。



講師の田巻紘子弁護士

1946年、ベアテさんが24条につながる草案を書いた背景に、「日本女性が男性優位社会の下で耐えて暮らしてきたことをよく知っていたから」があったというのは今では有名な話ですが、田巻さんはこの例からも憲法は遠いものではなく《暮らしの根底にある》ということを教えてくれました。改憲問題については、今すすめられている《国家安全保障基本法案》《秘密保全法案》が改憲草案を下支えしていることが理解できました。怖い話ですが、知っておくべきことです。

みちの会の活動で、またひとつ学ぶことができました。

(野端京子)

主婦パートの課題学ぶ Cブロック学習会



「みなさんこそ、実践を」と
講師の本田一成教授

「子育て世代の働き方と労働法」の学習会を8月21日、東海市市民活動センターで行いました。国のアドバイザー派遣事業助成金が取れず、500円の参加費をいただいていたのが、46名の方にご参加いただきました。当日資料配布の不便があり、ご迷惑をおかけしました。

講師の本田一成教授(國學院大學)は東海市会員の坂さんの紹介で、主にスーパーで働く主婦パートなどの労働問題を長年研究されている方です。本田教授は最後にこう話されました。主婦パート“130万円の壁”の不满に対して「政治に任せるのではなく、はじめは自身たちが活動・実践し、その運動を政治家に働きかけ、社会を動かしていくべきである」。

(片桐真砂子)

学習会に参加して

毎月、家族で夫と私の給与明細と通帳の残高を見せ合い、我が家の生活プランを話し合おうと思います。娘にも我が家にはこれだけの収入と支出があり、何のために貯金しているかなどを話していこうと思います。ちょうど私が9月から派遣社員として短時間の仕事を始めるので、夫との賃金差だったり、光熱費や保険など目に見えない支出がたくさんあること、今はおかげ様で不自由のない生活を送っていますが、娘が就職する頃には、こんなに上手くはいかないかもしれないこと、等々何かを感じてもらえるよう、教えていこうと決めました。



(位田美砂)

◆南知多町男女共同参画映画会◆

平成25年3月、南知多町にもようやく男女共同参画基本計画「南知多ひまわりプラン」が策定されました。(策定委員13名に、地域開発みちの会会員より3名参加)

計画の初年度にあたり、プランのめざす姿について広く住民に知ってもらい、男女共同参画についても深く考えてもらうことを目的とした映画会が町主催で8月31日、南知多町総合体育館にて開催されました。

上映作品「しあわせのパン」に先立って、地域開発みちの会制作のDVD「これからの男の生き方！イクメン・カジダン・共同メン」が上映され、啓発活動に一役買いました。261名の参加者にとって、映画を通して心温まる幸せな気持ちになると同時に意義ある学びの機会となりました。

(中村修見)

夫源病って？ Dブロック学習会



「夫婦ともに自立を」と講師の二宗博美さん

9月9日、半田市雁宿ホールにて二宗博美さんを講師に「夫婦のこれから・夫の定年後とどう向き合うか」について学習会を行いました。夫が定年退職をむかえる頃、女性が陥りやすいのが「夫源病／ふげんびょう」です。

名付け親は石蔵文信医師で、夫の言葉や行動に対する不平や不満がストレスとなり、それが原因で妻の身体にめまい・頭痛・耳鳴り・不眠・肩こりなど様々な症状を起こします。反対に妻が原因となる場合もあります。

これを防ぐための講座を企画するワークショップを行いました。いかにお互いの身辺や精神が自立し、対等な立場で尊重しあえるかが大切です。そのためには日常の何気ない言葉のキャッチボールを積極的にすることと、二人三脚より二人四脚を目指すことが、セカンドライフを豊かに生きることと、自分自身に置き換えても良いヒントとなりました。

(加藤美幸)

『夫源病危険度チェック・こんな夫は妻を病気にする！』

- 1) 人前では愛想がいいが家では不機嫌
- 2) 妻の予定や行動をいちいちチェックする
- 3) 常に「上から目線」で話をする
- 4) 仕事関係以外の交友や趣味が無い
- 5) 家事に手を出さないが口は出す
- 6) 妻が一人で外出するのを嫌がる
- 7) 妻や子どもを養ってきたという自負が強い
- 8) 家事の手伝いや子育てを自慢する自称“いい夫”
- 9) 「ありがとう」「ごめんなさい」のセリフがない
- 10) 車の運転をすると性格が一変する



【診断】

左記のチェック項目に○の数が
4つ以下…大丈夫
5～7つ…夫源病予備軍
8つ以上…明らかに夫源病

◆愛知県男女共同参画人材育成事業フォローアップ講座◆

「女のロマン・市川房枝」をテーマに、中日新聞東海本社編集局長の林寛子さんの講座が10月4日ウィルあいちで開催されました。

～フォローアップ講座を終えて～

まだ男女平等ではなかった明治、大正、昭和という激動の時代に、女性に生まれたがために受ける不利益をしっかりと悲劇と捉え、女性の権利獲得のために生涯を通して突き進んだ女性、市川房枝。「権利の上に眠るな」という言葉が突き刺さりました。先人達が心血を注いで戦い獲得した権利をもっとよく知り、知った上で権利を正当に行使していくということが、後生に生きている私たちに課せられた義務なのかもしれません。理不尽に流されることなく勇気をもって立ち向かう姿勢、少しでも見習わなければと思いました。(近藤由美子)

お知らせ

イベント名	日程	時間	会場
議員と語る会	10月24日(木)	13:30~16:00	常滑市鬼崎公民館
	「未来へ活かす男女共同参画ー女性の力で地域づくり」		
研修会	11月5日(火)	8:20~18:00	新城市
	女性が活躍する企業本多プラス(株)視察と湯谷温泉		
ウィルあいちフェスタ 2013	11月9日(土)	①13:30~14:45	セミナールーム6
		②15:00~16:15	
ドキュメンタリーから学ぶ男女共同参画「私は男女平等を憲法に書いた」DVD上映			
ひがしうら女性の会講演会	12月7日(土)	10:00~12:00	東浦町文化センター
	「避難所生活、共に生きるために!!」		
Bブロック学習会	12月8日(日)	13:00~15:30	河和港観光総合センター
	「楽しもう♥広げよう♥子とともに」		
フォーラム	1月26日(日)	13:30~15:30	J A あいち知多総合本部ビル7階 大会議室

編集後記

東京オリンピックが決定した。閉塞感いっぱいの日本社会において、明るい光を見出せそうで、歓迎コールも多く聞かれる。一方で、そんなことやってる場合?という厳しい声も。今回のブロック学習会は、いずれも現在の日本の社会を大きく変えていこうという流れの中で、知らなくていいの?大丈夫?という会員の皆さんの見職、情報を持ち寄る機会になりました。みちの会の目的を確認できる年度になりそうです。

編集委員 加藤美幸 岡本一美

ご意見ご希望をメールにてお寄せください

h_ktmk@yahoo.co.jp spchita@amsodhne.jp

